

2025年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2024年7月31日

 黒崎播磨株式会社

(証券コード：5352)

1. 2025年3月期第1四半期決算の概要
2. 経常利益増減要因分析
3. セグメント別業績（連結）
4. 耐火物セグメントの概況
5. ファーネスセグメントの概況
6. セラミックスセグメントの概況

2025年3月期第1四半期決算の概要

単位：億円

	FY2023_1Q	FY2024_1Q	前年同期比	
売上高	453.5	439.3	▲ 14.1	▲ 3.1%
営業利益	41.3	31.2	▲ 10.1	▲ 24.5%
経常利益	47.5	35.6	▲ 11.9	▲ 25.1%
純利益 (*1)	30.7	21.5	▲ 9.2	▲ 29.9%
R O S (*2)	10.5%	8.1%	▲ 2.4pt	
R O E (*3)	16.2%	9.8%	▲ 6.4pt	
R O I C (*4)	11.4%	7.6%	▲ 3.8pt	

事業環境

- ・ 国内粗鋼生産量 (FY2024_1Q) 2,124万トン (前年同期比▲4.4%)
- ・ 世界粗鋼生産量 (CY2024_1月～6月) 9億5,460万トン (前年同期比+0.0%)
- ・ インド粗鋼生産量 (CY2024_1月～6月) 7,420万トン (前年同期比+7.4%)

(*1)：親会社株主に帰属する純利益

(*2)：売上高経常利益率

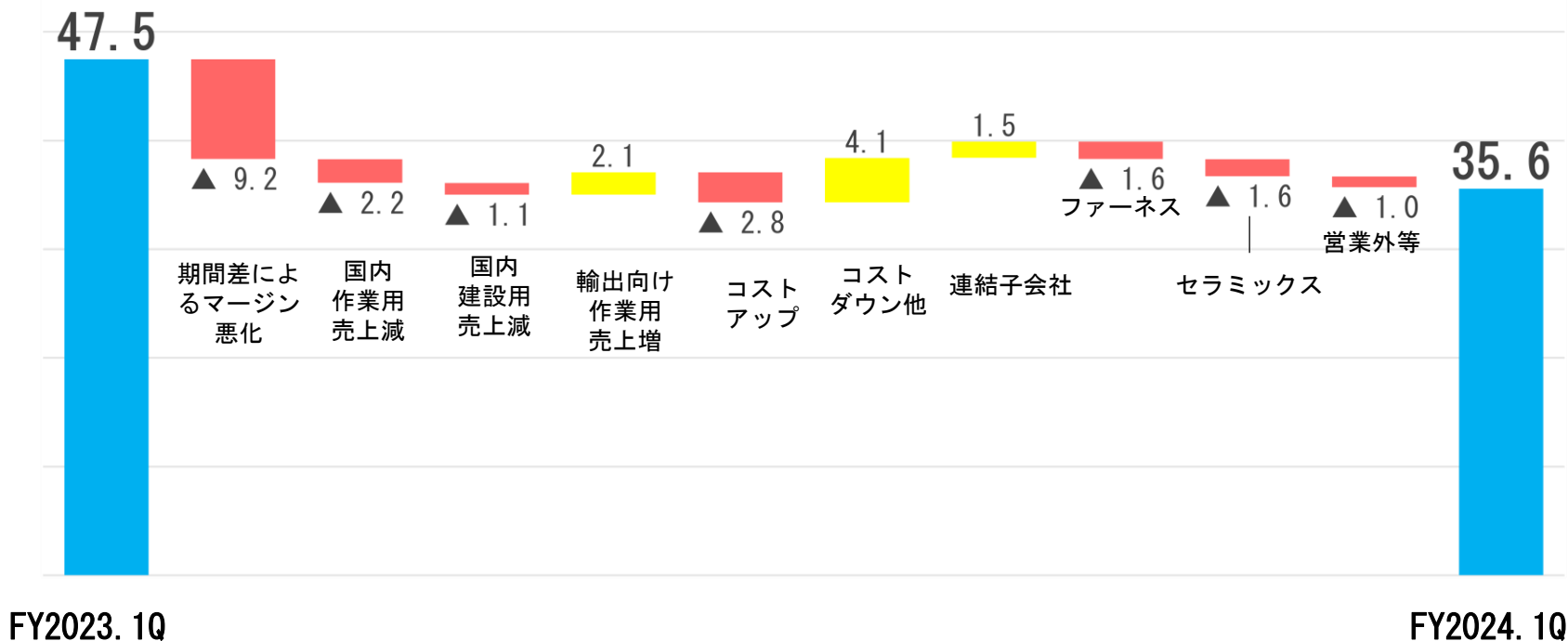
(*3)：自己資本利益率

(*4)：投下資本利益率

国内粗鋼生産量が減少した影響を受けたことに加え、円安進行に伴う輸入原材料の価格上昇を要因とする一時的なコスト負担等により減益。

単位：億円

11.9億円の減益



セグメント別業績(連結)

単位：億円

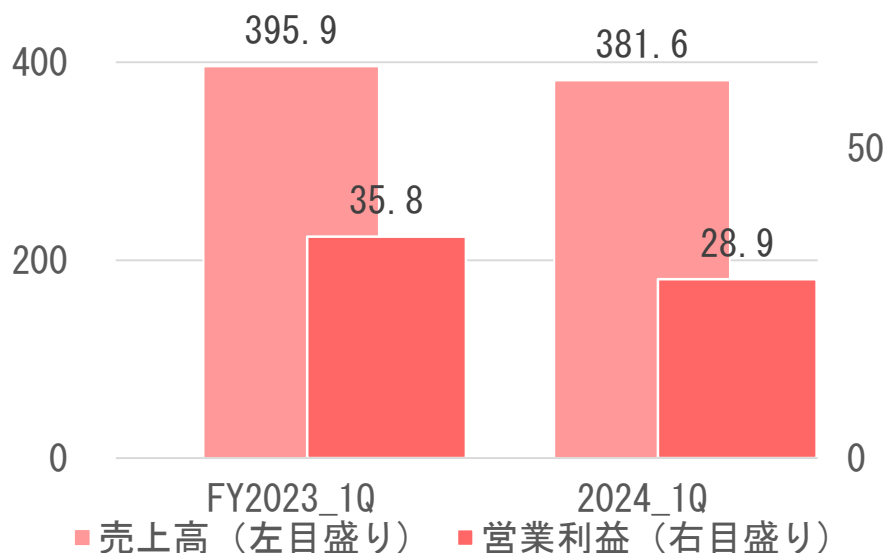
		FY2023_1Q	FY2024_1Q	前年同期比	
耐火物	売上高	395.9	381.6	▲ 14.2	▲ 3.6%
	セグメント利益	35.8	28.9	▲ 6.8	▲ 19.2%
ファーンレス	売上高	34.2	35.3	+ 1.0	+ 3.1%
	セグメント利益	2.1	0.4	▲ 1.6	▲ 78.2%
セラミックス	売上高	19.5	17.9	▲ 1.6	▲ 8.3%
	セグメント利益	1.8	0.2	▲ 1.6	▲ 86.6%
不動産他	売上高	3.8	4.4	+ 0.6	+ 17.3%
	セグメント利益	1.4	1.5	+ 0.0	+ 2.0%
合計	売上高	453.5	439.3	▲ 14.1	▲ 3.1%
	セグメント利益	41.3	31.2	▲ 10.1	▲ 24.5%

各セグメントの売上高は外部顧客への売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれていません。また、セグメント利益は営業利益ベースです。

業績推移

単位：億円

	FY2023_1Q	FY2024_1Q	前年同期比	
売上高	395.9	381.6	▲14.2	▲3.6%
営業利益	35.8	28.9	▲6.8	▲19.2%



業績レビュー

- ・ 堅調なインド鉄鋼市場での事業拡大を進めたものの、国内粗鋼生産量が減少した影響を受けたことに加え、円安進行に伴う輸入原材料の価格上昇を要因とする一時的なコスト負担等により、減収減益。

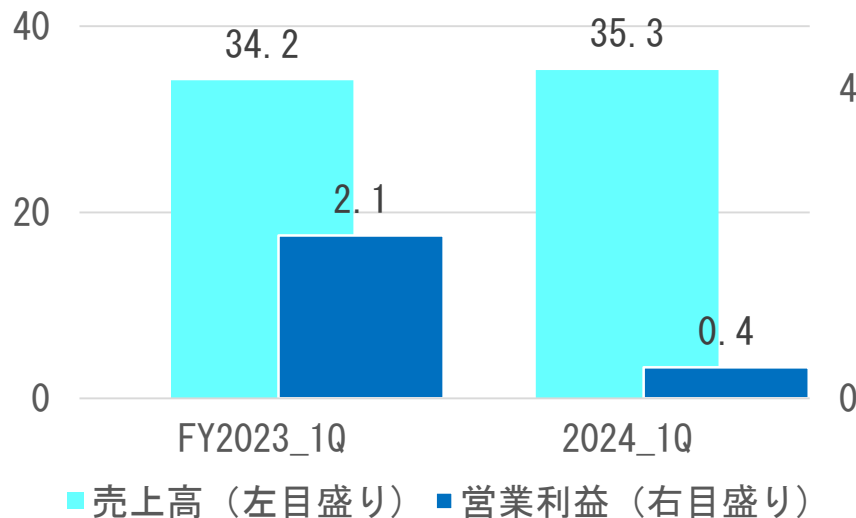
今後の取り組み

- ・ 国内は自動化・省力化やDX推進、技術力を活かした新商品の市場投入により競争力を更に強め、収益基盤をより強化する。
- ・ 海外はインド市場において確立したフルメニュー生産・販売体制の最大活用、更なる生産能力増強を進めつつ、欧米でのアライアンスパートナー企業と当社拠点との連携深化による非鉄分野を含めた需要の捕捉で、一層の事業拡大を目指す。

業績推移

単位：億円

	FY2023_1Q	FY2024_1Q	前年同期比	
売上高	34.2	35.3	+1.0	+3.1%
営業利益	2.1	0.4	▲1.6	▲78.2%



業績レビュー

- ・売上は、整備作業の増加により増収。利益は、受注案件の一時的構成差等により減益。

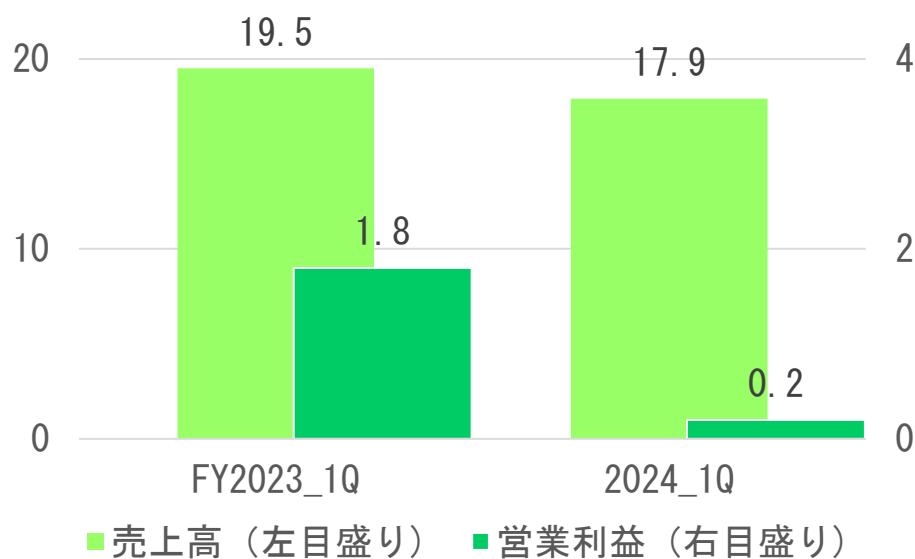
今後の取り組み

- ・大型工事案件の確実な捕捉、製鉄設備整備作業の継続受注、及び要員効率化等のコストダウンにより収益力向上を推進する。
- ・省エネ工業炉の設計・施工に加え、バイオマスを含む発電用ボイラ、及び焼却炉等、非鉄ユーザー向けのメンテナンス・新規案件の受注により収益を拡大する。

業績推移

単位：億円

	FY2023_1Q	FY2024_1Q	前年同期比	
売上高	19.5	17.9	▲1.6	▲8.3%
営業利益	1.8	0.2	▲1.6	▲86.6%



業績レビュー

- 半導体製造装置向けセラミックス材料と家庭用燃料電池向け断熱材が、受注の谷間となったことにより減収減益。

今後の取り組み

- 半導体業界団体の米SEMI(*)は、2025年の半導体製造装置市場が、前年比17%増の1,280億米ドル(1米ドル=158円換算で約20兆円)に拡大する予測を発表した。
当社は半導体露光装置向けを中心に拡大する需要を確実に捕捉する。
- 環境分野向け断熱材、電子部品向けセラミックス材、宇宙・医療等の新規分野向け製品等、各分野での拡販により収益を更に拡大する。

(*) SEMI : 国際半導体製造装置材料協会



<https://www.krosaki.co.jp/>

本資料は、金融商品取引法上の開示資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。